

新潟県の農林水産業の概要

特徴・取組

新潟県は、本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東西に山々がそびえ、信濃川や阿賀野川などの河川が日本海に注ぎ、広大で肥沃な平坦地が形成され、全国有数の食料供給基地となっている。また、海岸線は非常に長く、砂丘が発達しているところも多くある。日本海側特有の夏は高温多湿、冬は多雪であり、特に上越・中越地方の山間部は豪雪地帯となっている。

新潟県内では、世界的に注目される技術やトップシェアを誇る、ものづくり企業が多くあり、出荷額では金属洋食器、石油ストーブ、米菓などが全国1位となっている。また、ニットを中心とした繊維産業も盛んである。

耕地面積は北海道に次ぐ第2位であり、米の生産量は日本一。砂丘地から山間高冷地までの特色ある気候風土を活かして多種多様な野菜、果物、花きを生産。えだまめ、すいかの収穫量、チューリップの球根、ゆりなどの切り花の栽培面積は全国トップクラス、柿やなしなどの果樹も多く栽培され全国的にも有名となっている。

儲かる農業の実現に向け、新潟県では稲作農家への園芸導入、省力的で生産効率の高い産地の育成により、園芸生産の拡大を目指すとともに、ブランド力の強化を進めている「えだまめ」や「ルレクチエ（西洋なし）」等を中心に首都圏でPRを展開。GIについては、平成29年「くろさき茶豆」、令和元年「津南の雪下にんじん」、令和3年「大口れんこん」が登録されている。

新潟県では、食料自給率向上のため、小麦粉消費量の10%以上を米粉に置き換える運動、“にいがた発「R10プロジェクト」”を全国に向け発信している。国産農林水産物の消費拡大に寄与する優良な取組として「フードアクションニッポンアワード」の優秀賞を受賞（平成23年）した。

地球温暖化の防止や生物多様性の保全につながる環境保全型農業が各地で行われている。佐渡の世界農業遺産への認定（平成23年6月）に当たり、「トキとの共生」をキャッチフレーズとした環境保全型農業が大きな要素となった。

主な農林水産物

米

「コシヒカリ」に代表されるお米の産地として全国的に有名。新品種の「新之助」は、大粒で豊潤な甘みとコクがある。
(収穫量全国1位)



西洋なし

「西洋なしの貴婦人」と讃えられる「ルレクチエ」は、甘くとろけるような食感と芳醇な香りが特徴。
(収穫量全国2位)



えだまめ

「新潟茶豆」は、実の薄皮が薄茶色なことから茶豆と名付けられ、茹でた時の独特の芳香と、かむほどに広がる豊かなうまみが特徴。
(収穫量全国7位)



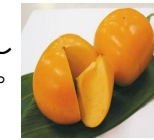
すいか

「新潟すいか」は、シャリ感があり甘い。南魚沼地域の「八色(やいろ)西瓜」は市場から高い評価を得ている。
(収穫量全国5位)



柿

おけさ柿として親しまれており、種のない渋柿で「渋(しぶ)」を抜いて出荷している。甘柿にはない甘くて滑らかな食感が特徴。
(収穫量全国7位)



いちご

新潟県オリジナル品種の「越後姫」は、芳醇な香りとうまみとジューシーな食感。また、大粒で酸味が少なく甘みが強いことが特徴。



花き(ゆり)

落ちついた外観の「スカシユリ」、豪華な「オリエンタル系ユリ」の両方ともほぼ通年出荷。
(ゆり(切り花)出荷量全国3位)



食用ぎく

主産地の下越地方では、「かきのもと」と呼ばれている。花弁は赤紫で、ほろ苦い味とシャキシャキとした歯ごたえの良さが特徴。
(収穫量全国5位)



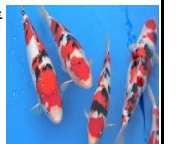
きのこ

きのこの生産量は、全国2位。品目別生産量では、まいたけ(全国の6割以上)、なめこ、ひらたけが全国1位。えのきたけ、ぶなしめじ、エリンギが全国2位。



錦鯉

発祥の地であり、雪国の清らかな水と伝統の技法で育てられた独特な色調をもつ「泳ぐ宝石」。



新潟県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】

水稻：代表品種

①コシヒカリ、②新之助、③こしいぶき

えだまめ、すいか、やわ肌ねぎ（ねぎ）、たまねぎ、さといも、アスパラガス、大豆、ルレクチエ（西洋なし）、日本なし、おけさ柿

畜産：にいがた和牛（肉用牛）、にいがた地鶏（肉用鶏）、豚

【林産物】まいたけ、しいたけ、えのきたけ

【水産物】南蛮エビ（ホッコクアカエビ）、ヤナギガレイ、ズワイガニ、サザエ

佐渡（さど）地域

【農産物】

おけさ柿・あんぽ柿・干し柿（かき）、佐渡りんご（りんご）、みかん

【林産物】乾しいたけ

【水産物】佐渡寒ブリ（ぶり）、ながも（アカモク）、マガキ

上越（じょうえつ）地域

【農産物】

越（こし）の丸茄子（なす）、トマト、オータムポエム、加工ぶどう、いちじく

【林産物】えのきたけ、しいたけ

【水産物】ベニズワイガニ、ニギス、マダイ

下越（かえつ）地域

【農畜産物】

越後姫（いちご）、トマト、きゅうり、だいこん、かきのもと（食用菊）、さつまいも、じねんじょ、村上茶（茶）、そらまめ、すいか、もも、ぶどう、いちじく、栗、チューリップ（切り花、球根）、ユリ（切り花）、鉢物（花）、村上牛（肉用牛）

【林産物】しいたけ、まいたけ、ひらたけ

【水産物】サケ、ヒラメ、ノドグロ（アカムツ）

中越（ちゅうえつ）地域

【農畜産物】

大口れんこん（れんこん）、なす、カリフラワー、山古志かぐらなんばん（とうがらし）、肴豆（えだまめ）、日本なし、ぶどう、もも、梅、にいがた地鶏（肉用鶏）

【水産物】錦鯉、マダイ、モズク

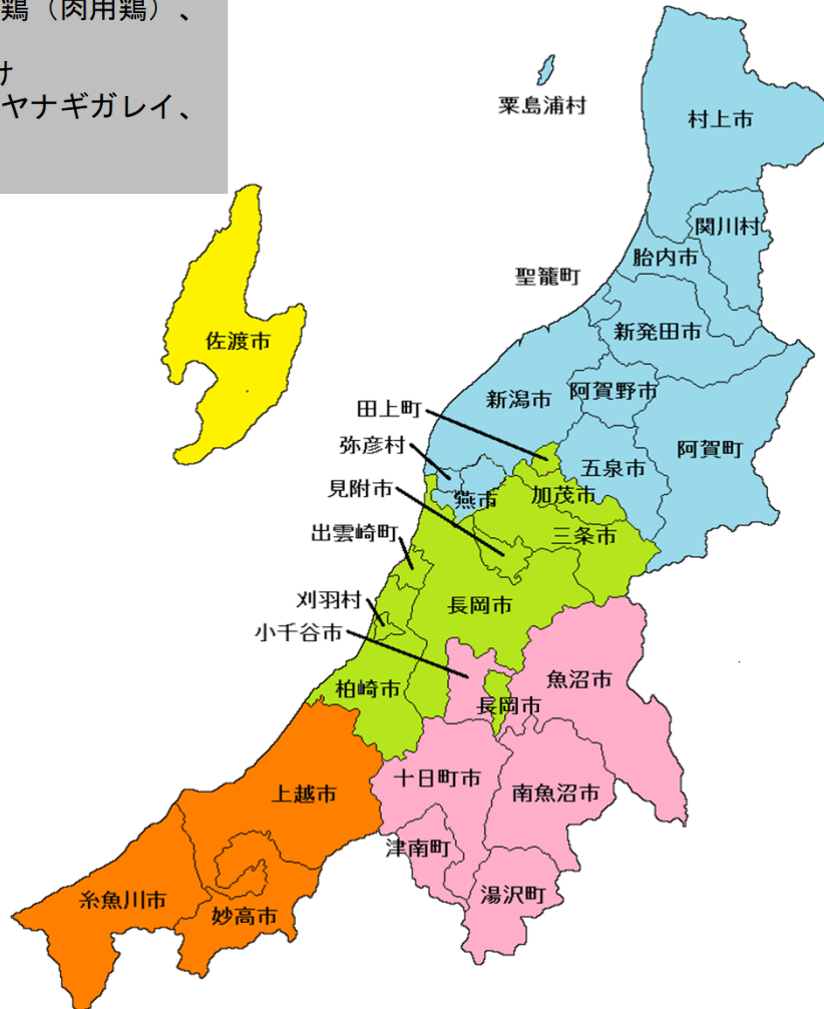
魚沼（うおぬま）地域

【農産物】

八色（やいろ）西瓜（すいか）、雪下にんじん（にんじん）、スイートコーン、かぼちゃ、深雪なす（なす）、たらの芽、うるい、ふきのとう、加工ぶどう、ユリ（切り花）

【林産物】八色（やいろ）しいたけ（しいたけ）、えのきたけ、ぶなしめじ、まいたけ、なめこ、ひらたけ、エリンギ

【水産物】魚沼美雪ます（ます）



新潟県の農業（1）

- ・耕地面積は16万8,200ha全国第2位。内訳は田が14万9,400haで耕地の89%。
- ・担い手への集積面積は10万9,581haで全国第2位。集積率は64.8%で7位。
- ・農業経営体数は4万3,502経営体で全国第2位。集落営農数は719集落営農で4位。
- ・基幹的農業従事者数は4万6,085人で全国第8位。認定農業者数は1万4,139経営体で2位。

耕地面積

区分	新潟県	全国	全国順位
耕地面積	168,200 ha	4,349,000 ha	2
田	149,400 ha	2,366,000 ha	2
畑	18,800 ha	1,983,000 ha	22
普通畑	16,000 ha	1,126,000 ha	17
樹園地	2,120 ha	263,200 ha	35
牧草地	693 ha	593,400 ha	20
参考) 総土地面積	1,258,395 ha	37,797,463 ha	5

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	新潟県	全国	全国順位
荒廃農地面積	2,534 ha	281,831 ha	34

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	新潟県	全国	全国順位
担い手への集積面積	109,581 ha	2,535,115 ha	2
集積率	64.8 %	58.0 %	7

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	新潟県	全国	全国順位
農業経営体数	43,502 経営体	1,075,705 経営体	2
法人経営体	1,218 経営体	30,707 経営体	3
総農家数	62,556 戸	1,747,079 戸	5
販売農家	41,751 戸	1,027,892 戸	2
参考) 世帯総数	864,750 世帯	55,830,154 世帯	15
集落営農数	719 集落営農	14,490 集落営農	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	新潟県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	46,085 人	1,363,038 人	8
男	30,257 人	822,144 人	6
女	15,828 人	540,894 人	12
65歳以上	34,754 人	948,621 人	4
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	75.4 %	69.6 %	-
認定農業者数	14,139 経営体	233,806 経営体	2
法人数	1,069 法人	26,080 法人	3
参考) 総人口数	2,201,272 人	126,146,099 人	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

新潟県の農業（2）

- ・農業産出額は2,526億円で全国第12位。内訳は米が1,503億円で農業産出額の60%。
- ・農畜産物の生産状況は、水稲が全国第1位、西洋なし及び花木類（鉢もの類）が2位、ゆり（切り花類）及び球根類が3位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が195億300万円で全国第22位。事業体数は650事業体。

農業産出額

区分	新潟県	全国	全国順位
農業産出額	2,526億円	89,557億円	12
米	1,503億円	16,551億円	1
麦類	x億円	521億円	-*
雑穀	1億円	77億円	12
豆類	12億円	712億円	11
いも類	33億円	2,391億円	10
野菜	321億円	22,520億円	25
果実	92億円	8,741億円	24
花き	67億円	3,080億円	15
工芸農作物	10億円	1,553億円	19
その他作物	x億円	697億円	-*
畜産	485億円	32,279億円	17
肉用牛	35億円	6,863億円	35
乳用牛	57億円	9,310億円	27
生乳	51億円	7,798億円	26
豚	139億円	6,596億円	14
鶏	253億円	8,724億円	11
鶏卵	179億円	4,577億円	8
ブロイラー	25億円	3,621億円	24*
その他畜産物	1億円	787億円	39
加工農産物	1億円	436億円	24

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	新潟県	全国	全国順位
水稲	収穫量 R3	620,000 t	7,563,000 t	1
西洋なし	収穫量 R2	1,990 t	27,700 t	2*
花木類（鉢もの類）	出荷量 R2	5,950 千鉢	33,800 千鉢	2
ゆり（切り花類）	出荷量 R2	11,200 千本	115,500 千本	3
球根類	出荷量 R2	13,600 千球	73,700 千球	3
すいか	収穫量 R2	17,600 t	310,900 t	5
そらまめ	収穫量 R2	535 t	15,300 t	5
食用ぎく	収穫量 H30	54 t	801 t	5
えだまめ	収穫量 R2	4,350 t	66,300 t	7
さといも	収穫量 R2	5,110 t	139,500 t	7
かき	収穫量 R2	9,470 t	193,200 t	7
大豆	収穫量 R2	5,890 t	218,900 t	8*

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「地域特産野菜生産統計調査」、「花き生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	新潟県	全国	全国順位	
農産加工	総額	10,122 百万円	946,841 百万円	26
	事業体数	1,030 事業体	32,400 事業体	8
農産物直売所	総額	19,503 百万円	1,053,366 百万円	22
	事業体数	650 事業体	23,650 事業体	13
観光農園	総額	681 百万円	35,943 百万円	19
	経営体数	90 経営体	5,290 経営体	18

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

新 潟 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は481億円で全国第2位。内訳は栽培きのこ類生産が469.4億円で林業産出額の98%。
- ・ 林産物の生産状況は、なめこ、ひらたけ及びまいたけが全国第1位。
- ・ 製材工場数は158工場で全国第4位。

林野面積

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林野面積	802,757 ha	24,770,201 ha	7
国有林	224,780 ha	7,153,338 ha	8
民有林	577,977 ha	17,616,863 ha	5
人工林面積	161,993 ha	10,203,842 ha	27

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林業経営体数	637 経営体	34,001 経営体	21
法人経営体	111 経営体	4,093 経営体	11

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
林業産出額	481.0 億円	4,286.4 億円	2
木材生産	10.3 億円	1,943.7 億円	36
栽培きのこ類生産	469.4 億円	2,259.6 億円	2

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
素材生産量	99 千m ³	19,882 千m ³	38
針葉樹	94 千m ³	18,037 千m ³	37
すぎ	93 千m ³	11,663 千m ³	31
広葉樹	5 千m ³	1,845 千m ³	32
なめこ	生産量 4,981.6 t	22,835.3 t	1 *
ひらたけ	生産量 1,458.0 t	3,823.6 t	1 *
まいたけ	生産量 36,876.9 t	54,993.4 t	1 *
えのきたけ	生産量 19,654.5 t	127,914.2 t	2 *
ぶなしめじ	生産量 23,163.4 t	122,802.2 t	2 *
エリンギ	生産量 12,859.5 t	38,499.9 t	2 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
工場数	158 工場	4,115 工場	4
製材用素材の入荷があった工場数	147 工場	4,067 工場	5
国産材のみ	122 工場	3,237 工場	6
国産材と輸入材	18 工場	653 工場	15

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

新 潟 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は120億円で全国第30位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業でさざえが全国第3位、内水面漁業でこいが2位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が7億6,900万円で全国第16位。事業体数は20事業体。

漁船隻数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,896 隻	132,201 隻	25
動力漁船	617 隻	69,920 隻	31

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,338 経営体	79,067 経営体	23
内水面漁業経営体数	375 経営体	4,772 経営体	4

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,954 人	151,701 人	26
男	1,890 人	134,186 人	25
女	64 人	17,515 人	31

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	120 億円	13,484 億円	30

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	27,996 t	4,182,983 t	27 *
海面漁業漁獲量	26,679 t	3,213,334 t	23
さざえ	351 t	4,609 t	3
ふぐ類	234 t	3,845 t	4
べにずわいがに	1,651 t	12,537 t	4
海面養殖業収穫量	1,317 t	969,649 t	26 *
かき類	654 t	159,019 t	12 *
内水面漁業・養殖業生産量	575 t	50,832 t	14
内水面漁業漁獲量	411 t	21,745 t	7 *
こい	40 t	162 t	2 *
内水面養殖業収穫量	164 t	29,087 t	21

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	新 潟 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	377 百万円	175,132 百万円	31
	事業体数	20 事業体	1,500 事業体	22
水産物直売所	総額	769 百万円	36,489 百万円	16 *
	事業体数	20 事業体	800 事業体	13 *
漁家民宿	総額	204 百万円	6,659 百万円	9 *
	経営体数	50 経営体	900 経営体	4 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

新潟県の農林水産業の話題等

ブランド力がある米に加え園芸作物導入による所得向上を目指す

新潟県農業の基幹作物である「米」は、令和2年農業産出額は全国1位、県の農業産出額全体の約6割を占めている。

主力品種である「コシヒカリ」に加え、平成29年秋には、大粒でコクと甘みがある新品種「新之助」の販売がスタートし、「米づくりの伝統を極めた革新の品と質」が評判となっている。

一方、近年の米の消費量の減少等により「米の一本足打法」から脱却し、園芸作物の導入・拡大を進めるため、知事を中心とした「新潟県農業改革基本戦略推進会議」を平成31年2月に設置、令和元年7月に「園芸振興基本戦略」を策定し、園芸生産の取組が拡大して儲かる農業を実現することで、農業者の所得が向上し農業が成長産業となっていく姿を目指す。

今後は、県内関係者を挙げた園芸振興の取組に対し、国としても、各種施策を通じて支援を行っていく。



育苗ハウスを活用した栽培
(手前:いちじく、後方:ぶどう棚)



育苗ハウスを活用した栽培
(アスパラ菜)

発祥である「錦鯉」の振興を通じて地域活性化を図る

錦鯉は新潟県が発祥の地であり、養殖を行う経営体数も全国1位である。

小千谷市や長岡市で毎年、春と秋に開催される品評会には、国内外から多くの人々が訪れ地域活性化に貢献するとともに、今後、錦鯉を通じた観光振興や国際交流の拡大が期待されている。

横井戸や雪解け水を利用した稲作と養鯉（ようり）が伝統的に行われてきたことの独自性・重要性が評価され、平成29年3月に日本農業遺産第1号に認定された。

錦鯉を育む地域住民による、棚田・棚池の保全が生物多様性や生態系機能の維持に大きく寄与しており、国としても、必要な情報提供等を行う。



泳ぐ宝石「錦鯉」



錦鯉を育む棚池